

会を初めて開いた。地元の声は聞いた」と話していた。

県建築協会は来春、地元企業へのインターンシップも予定している。（鎌倉尊信）

明を、3年生ら約60人が聞き入った。

光進建設（熊本市東区）の井上弘太郎社長が「造った建築物が未来に残り、社会基盤の整備に携われるのが魅力」エピソード。現場監督や設計など職種別の5グループに分かれ、学生と会員企業の担当者が見聞を交わした。

仕事に必要な資質を尋ねる学生に対し、企業側は「自分のスキルを上げる努力が重要」

「顧客や職人とのコミュニケーションも求められる」と回答。3年の武富翔平さんは「大学では聞けない現場の

地元建築業に「興味持つて」

崇城大で説明会

県建築協会と県建築士事務所協会は11日、崇城大工学部建築学科を対象にした業界説明